



平成 27 年 11 月 4 日

各 位

会 社 名 サイバーコム株式会社  
代表者名 代表取締役社長 渡邊 剛喜  
(コード番号：3852)  
問合せ先 常務取締役経営管理部長 佐藤 文昭  
(TEL. 045-312-3271)

(訂正)「平成 27 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部訂正について

当社は、平成 27 年 2 月 3 日に公表いたしました「平成 27 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の記載について訂正がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 訂正の内容

訂正箇所には下線を付して表示しております。

○添付資料 2 ページ

(1) 経営成績に関する定性的情報

[ 訂正前 ]

<省略>

当第 3 四半期累計期間におけるセグメント別の業績は以下のとおりであります。

(ソフトウェア開発事業)

当社の主力事業でありますソフトウェア開発事業は売上高47億98百万円（前年同期比11.8%増）、営業利益 7 億21百万円（前年同期比20.7%増）となりました。

通信ソフトウェア開発は、LTE網（LTE-Advancedを含む）やIPネットワーク網を支える伝送装置、次世代のルータ、スイッチ、ネットワーク網監視システムの開発案件、SDN関連のシステム開発案件等を受注いたしました。制御ソフトウェア開発は、車載システム、工業用機械制御装置、アミューズメント機器の開発案件等を中心に受注いたしました。また、業務ソフトウェア開発は、自治体向け業務システム開発案件、医療関連、ECサイト構築、金融向け業務システム開発案件、エネルギー関連のシステム開発案件等を受注いたしました。

(サービス事業)

サービス事業は売上高12億64百万円（前年同期比3.1%減）、営業利益 1 億84百万円（前年同期比3.0%増）となりました。クラウド化やネットワーク網増強の潮流を受け、SIサービス（構築・保守・運用サービス）では、クラウド基盤の構築やデータセンターの運用案件、基地局、ネットワーク網の設計・評価案件等を受注いたしました。また、独自プロダクトにおいては、新規に販売開始した「Cyber Phone<sup>™</sup>」の案件も受注いたしました。

[ 訂正後 ]

<省略>

当第3四半期累計期間におけるセグメント別の業績は以下のとおりであります。

(ソフトウェア開発事業)

当社の主力事業でありますソフトウェア開発事業は売上高47億98百万円（前年同期比11.8%増）、営業利益7億21百万円（前年同期比20.6%増）となりました。

通信ソフトウェア開発は、LTE網（LTE-Advancedを含む）やIPネットワーク網を支える伝送装置、次世代のルータ、スイッチ、ネットワーク網監視システムの開発案件、SDN関連のシステム開発案件等を受注いたしました。制御ソフトウェア開発は、車載システム、工業用機械制御装置、アミューズメント機器の開発案件等を中心に受注いたしました。また、業務ソフトウェア開発は、自治体向け業務システム開発案件、医療関連、ECサイト構築、金融向け業務システム開発案件、エネルギー関連のシステム開発案件等を受注いたしました。

(サービス事業)

サービス事業は売上高12億64百万円（前年同期比3.1%減）、営業利益1億84百万円（前年同期比2.9%増）となりました。クラウド化やネットワーク網増強の潮流を受け、SIサービス（構築・保守・運用サービス）では、クラウド基盤の構築やデータセンターの運用案件、基地局、ネットワーク網の設計・評価案件等を受注いたしました。また、独自プロダクトにおいては、新規に販売開始した「Cyber Phone™」の案件も受注いたしました。

○添付資料 6ページ

(5)セグメント情報等

[ 訂正前 ]

<省略>

前第3四半期累計期間（自平成25年4月1日至平成25年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期 損益計算書 計上額(注)2
	ソフトウェア 開発事業	サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,292,389	1,304,325	5,596,714	—	5,596,714
計	4,292,389	1,304,325	5,596,714	—	5,596,714
セグメント利益	597,790	179,317	777,107	△381,318	395,789

(注)1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であり、主に一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

<省略>

[ 訂正後 ]

<省略>

前第3四半期累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額(注) 2
	ソフトウェア 開発事業	サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,292,389	1,304,325	5,596,714	—	5,596,714
計	4,292,389	1,304,325	5,596,714	—	5,596,714
セグメント利益	<u>598,369</u>	<u>179,492</u>	<u>777,861</u>	<u>△382,072</u>	395,789

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であり、主に一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

<省略>

2. 訂正の理由

平成26年3月期第3四半期における営業利益の内訳であるセグメント利益に誤りがあったため、本件の金額及び平成27年3月期第3四半期の前年同期比が訂正となりました。これにより「平成27年3月期第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」における添付資料の「経営成績に関する定性的情報」及び「セグメント情報等」の記載内容が誤りとなりますので、これを訂正するものであります。

以 上